

第5講義 「下り坂の未来と闘う政治」

KOCHI 自民党政経塾（第5期生）

令和2年11月28日（土）

下り坂の未来と闘う政治とは

- ・下り坂とは、人口減少を念頭に置いている。
 - 戦後の高度成長期とは違った政治
 - 人口減少、都会への人口移動



そもそもの話

- ・定義としての政治とは
 - 「人々にとって、そもそも何が重要なことなのか？ →都会に行くのは悪？
 - 社会がどのような状態であることが良い状態なのか？」を考え、導く。 →核家族はだめ？
- ・定義としての政治家について
 - 選挙を通じて選ばれる人だけを政治家と定義するのではなく、世の中を良くする運動体の構成員として、定義し直したい。＝一部でなく、みんなで社会を良くするという共通認識。

狭義の政治家である議員の役割とは

- ・理想の姿を描き、行政を通じ、その実現を目指すもの
- ・運動体を活性化させる取り組みを提示＝住民参加 「無関心が最大の敵」
 - 論理的に作られた政策
 - 意思決定に関わる情報を、分かりやすく公開
 - 政治を分かりやすく。参加者を増やす。

政治家としてのテーマを持つ

- ・政治家（社会人）としてのテーマを持つ
 - 「何のために生まれて 何をして生きるのか
 - 答えられないなんて そんなのはいやだ！」
 - 狭義の政治家ではなくても、仕事を通じて社会貢献

最後にご参考まで。依光のテーマ

中山間地域の疲弊は、集落の消滅という事例も引き起こしています。集落にある数百年に渡って守られてきた神社が、誰も管理できなくなったり、幾世代にもわたって毎年作付されてきた田んぼが、ここ数年で何も植えられなくなる。効率化、集約化の流れの中で、昔ながらのものは消えていく運命といえそれまでですが、長い時間をかけて守られてきたものが、目の前で消えていくことに対して、責任を感じざるを得ません。（初めての議会質問 平成23年6月定例会）

まとめ

皆さんは、もう広い意味での政治家です。それぞれの持ち場で、高知を良くしていきましょう！